

取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

Ver. 3.0

型番:GRSPL-TWS 9156B



もくじ	ページ
安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	4
充電のしかた	5
ケースの使いかた	6
イヤホンの使いかた	10
Bluetoothについて	14
お手入れ	14
故障かなと思ったら	15
商品仕様	16
リチウム電池のリサイクルについて	17
保証書・保証規定	18

- この度は 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見るこのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の18ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本商品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本商品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■本商品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する



直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。

安全上の注意 必ず守ること



注意

- 本商品に強い衝撃や圧力を加えない



液漏・発火・炸裂の原因になります。

- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない



火災・感電・故障の原因になります。

- 医療機器の近くで使わない



電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す



電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。

- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う



電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。

- 大音量で長時間連続使用しない



聴力障害などの原因になることがあります。

- 使用開始時はボリュームを下げてから装着する



突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。

- 商品仕様の充電時間を過ぎてても充電が完了しない場合は、充電を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない



破損・発熱の原因になります。

- 本商品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない



液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。

- 小さなお子様の手の届かないところに保管する



誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。

- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く



ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。

- 充電中は、本商品および充電ケーブルの周りに物を置かない



感電・ショートの原因になります。

- 充電ケースを他の商品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない



感電・火災・ショート・故障の原因になります。

- イヤホンおよび充電ケースにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない



本商品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

- 安全のため、カーチャージャーで充電する際は本商品の充電ポートに充電ケーブルを接続した状態のまま車のエンジンをかけないでください。必ず、エンジンをかけた後に接続してください。



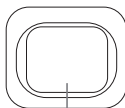
破損・発熱の原因になります。

使用上の注意

- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 長期間使用しない場合はバッテリーの自己放電による劣化を防ぐため、数ヶ月に一度を目安に充電してください。
- バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は特性であり故障ではありません。また、交換できません。

各部の名称

充電ケース



ディスプレイ

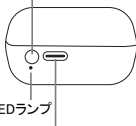


スピーカー



充電端子

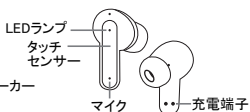
電源ボタン



LEDランプ

Type-C 充電ポート

イヤホン本体

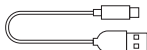


LEDランプ
タッチ
センサー

マイク

充電端子

付属品



Type-Cケーブル
(約0.30m)



イヤークャップ S/M/L

(Mサイズはイヤホン本体に装着済み)

充電のしかた

初めてお使いになる前に本商品を満充電にしてからご使用ください。

イヤホンの充電

イヤホンをケースに収納すると充電を開始します。

ご使用中バッテリー残量が低下すると「Low Battery」「Please Charge」の音声が聞こえますので、充電してください。

バッテリー残量はデジタル表示をご確認ください。

- 充電中の表示についてはケースの使いかた「アイコンの表示と状態」(P.7を参照)をご確認ください。
- 充電中はケースのフタを閉めてください。
- ケーブルおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

ケースの充電

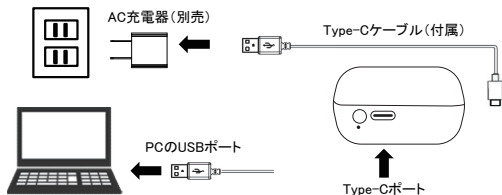
バッテリー残量はデジタル表示をご確認ください。

- 充電中の表示についてはケースの使いかた「アイコンの表示と状態」(P.7を参照)をご確認ください。

USB規格に適合したパソコンについているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-C充電ケーブルを使用して充電してください。

※電池残量が5%以下になるとイヤホンへの給電が止まります。

※本充電ケースはPD対応AC充電器でも充電できます。ただし、急速充電には対応していません。



ケースの使いかた

電源を入れる

ケース側面にある、電源ボタンを押すと電源が入ります。



電源ボタン

初期設定

1. ケースの電源ボタンを押します。
下記画面が表示され電源がオンになります。



2. 言語を選択します。

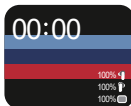


3. メニュー画面の壁紙を選択します。



4. トップ画面になります。

トップ画面を約2秒長押しするとトップ画面の壁紙を変更できます。



トップ画面を左右どちらかへスライドすると各機能が表示されます。

●画像は参考画面



5. メニュー画面の表示方法を設定できます。

●デフォルト
機能をスライド式に表示



●万華鏡
前後で全てを表示



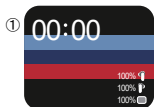
●歯車
上下移動のダイヤル式に表示



ケースの使いかた

アイコンの表示と状態

●トップ画面



①時計(※注意1)

②L(左)イヤホンのバッテリー残量

③R(右)イヤホンのバッテリー残量

④ケースのバッテリー残量

充電中はそれぞれが黄色に光ります。

※注意1: 携帯電話等のデバイスに接続された時に同期します。パソコンや携帯電話に外部接続の制限がある場合、同期処理されない場合があります。

●ケースの時計表示同期処理について

一部のandroid端末でBluetooth接続完了後、右記メッセージが表示されます。

ケースの時計を同期させる場合は「許可」を選択してください。「許可しない」を選択すると時計表示が同期しません。



●メニュー画面



①イヤホンのBluetooth接続状態

②R(右)イヤホンの状態

③L(左)イヤホンの状態

④ケースのバッテリー残量

⑤時計(※注意1)

① イヤホンがケースと接続されていない状態

イヤホンがケースと接続されている状態

イヤホンがケースの外にあり、携帯電話等、他のデバイスに接続されている状態



イヤホンがケースの中に無い状態

イヤホンの接触不良もしくはなんらかの不具合

イヤホンの充電中

イヤホンが満充電

④ケースのバッテリー残量が5%以下になると充電画面が表示されます。充電してください。

充電画面



充電中画面



ケースの使いかた

アイコンの種類と主な機能

(★)マークはイヤホン本体でも操作できる項目です。

ANCの設定(★)



ANCオン、外音取り込み、通常の切替
●ケースに収納するとオフになります。

音楽(★)



音楽再生、停止、曲送り、曲戻し
ボリューム調整

モード選択



動画、音楽、ゲーム
●視聴に合わせたモードで楽しむことができます。
●ケースに収納するとオフになります。

スタイル



画面表示方法の選択
デフォルト、万華鏡、歯車

ヘッドホンを探す



イヤホンを探す
探したいイヤホンをタッチすると
イヤホンから警告音が鳴ります。

懐中電灯



ライト点灯
白色、赤色、黄色、緑色の4色
※約30秒で消灯します。

撮影



接続済みデバイスのカメラシャッター機能
※ご使用デバイスでカメラアプリを起動していない場合、シャッターボタンは音量を上げる機能となります。

イコライザ



POP, ROCK, CLASS, JAZZ, VOICE,
DJ, DISCOから選択することができます。

設定



各種設定
基本的な設定ができます。

音声アシスタント(★)



音声アシスタント(Siriなど)立上げ

ストップウォッチ



ストップウォッチ

タイマー



タイマー設定
23:59:59まで設定可能

明るさ



ケース画面の明るさ設定

戻る



トップ画面に戻る

ケースの使いかた

●ANCの設定について

イヤホンを取り出しBluetooth接続した状態で、下記アイコンをタッチするとモード切替できます。

アイコン	モード
	アクティブノイズキャンセリング
	外音取り込み
	通常

設定について

スクリーン起動設定



オン:スクリーンをタッチして起動
オフ:ケース横にある電源ボタンで起動

言語設定



言語設定ができます。

壁紙設定



メニュー画面の壁紙を設定できます。

タッチ音選択



スクリーンタッチ音のオン/オフ

着信時の操作

イヤホンご使用中に着信があると、ケースの操作で電話に出ることができます。通話をする場合は緑色のアイコンをタップ、切る場合は赤色のアイコンをタップしてください。

着信時



発信時



トップ画面に戻る



トップ画面に戻ります。

※イヤホンケースのディスプレイ操作で設定を行い、続けて【トップ画面に戻る】を選択し実行すると設定された内容が保存されず設定前の内容に戻ってしまいます。
※設定変更した内容保存に約30秒必要となります。
【トップ画面に戻る】を実行せず、ディスプレイに触れず約30秒経過するとスクリーンが自動消灯し設定を変更した最新の内容が保存されます。

スクリーンのリセット



トップ画面・メニュー画面の設定をリセットします。

電源オフ



ケースの電源をオフにします。
※イヤホンの電源はオフになりません。
イヤホンの電源オン/オフは使いかた12ページ参照
※電源を入れると初期設定①～③が必要になります。

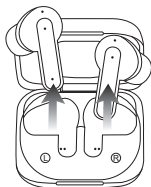
通話中



イヤホンの使いかた

イヤホンを取り出す

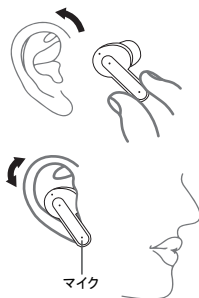
イヤホンはケースにマグネットで固定されています。
フタを開けてイヤホンを取り出してください。



イヤホンの装着

耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- タッチセンサーに触れないように、イヤホンの下の方を持って装着してください。
- 頭を軽く振ってみて、しっかり装着されたかを確認してください。しっかり装着しないと耳から外れて脱落や紛失のおそれがありますので、ご注意ください。
- 髪の毛、イヤリングなどがタッチセンサーに触れ続けないようにしてください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- マイクがある部分を口元に向けてください。



イヤークャップの交換

- 本商品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。

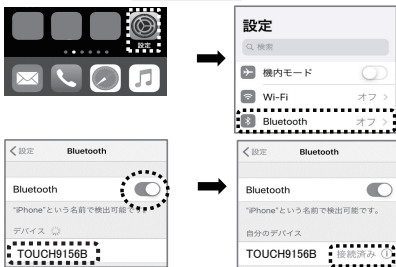


イヤホンの使いかた

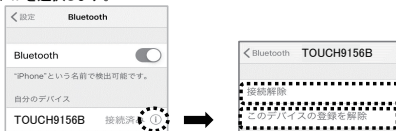
ペアリング

1. ケースから左右のイヤホンを取り出すと、「Pairing」の音声が聞こえ、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
- イヤホンを取り出すと「Left Channel」「Right Channel」と音声の流れます。
2. どちらかのイヤホンが親機となり、LEDランプが青色と白色に点滅し、もう一方のLEDランプが消灯します。
3. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
4. 検索されたデバイスの一覧から「TOUCH9156B」をタップします。接続すると「Connected」の音声が聞こえ、LEDランプが消灯します。
- Android端末でデバイス一覧に「TOUCH9156B」がない場合は、スキャンをタップしてください。
- 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。

iPhoneでの参考例



- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。



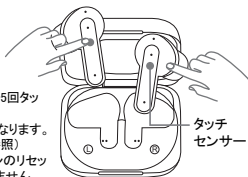
5. ご使用後はイヤホンをケースに戻してフタを閉じてください。Bluetoothがオフになり、自動的に充電を開始します。イヤホンの電源はオフになります。
- Bluetoothが未接続の状態ではイヤホンをケースに戻さずに約5分間使用しないと、自動的に電源がオフになります。
- Bluetoothが接続状態でイヤホンをケースに戻さずに放置した場合は自動的に電源がオフになりません。
- 2回目以降のご使用ではイヤホンをケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの使いかた

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってイヤホンをリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でデバイスを削除してからBluetoothをオフにしてください。
 2. 両方のイヤホンを取り出し、どちらかのタッチセンサーを5回タップします。
 3. イヤホンから「Power Off」の音声が聞こえ電源がオフになります。
 4. 電源を入れて、ペアリングをやり直してください。(P.11参照)
- ※イヤホンとケースは連動していません。そのためイヤホンのリセットをしてもケースの画面設定がリセットされることはありません。



電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

方法1: イヤホンが充電ケースに入っている場合は、ケースから取り出すと自動的に電源が入ります。

方法2: イヤホンが充電ケースの外にあり電源がオフの場合は、L(左)/R(右)のタッチセンサーを約3秒長押しします。

●両方行う必要があります。

電源を切る

イヤホンの電源を切るには2つの方法があります。

方法1: イヤホンをケースに収納して、フタを閉じると自動的にイヤホンの電源が切れます。

方法2: イヤホンが充電ケースの外にあり電源がオンの場合は、L(左)/R(右)のタッチセンサーを約3秒長押しします。

●両方行う必要があります。

着信応答／拒否

着信時にどちらかのタッチセンサーを1回タップすると着信に応答できます。

通話を終了する場合はどちらかのタッチセンサーを1回タップします。

着信を拒否する場合は、着信時にどちらかのタッチセンサーを約2秒長押しします。

※データ通信アプリを使った電話の場合、操作ができない場合があります。

再生／一時停止

音楽再生中にどちらかのタッチセンサーを1回タップすると一時停止します。

もう一度どちらかのタッチセンサーを1回タップすると一時停止が解除されます。

曲送り／曲戻し

音楽再生中にR(右)のタッチセンサーを2回タップすると曲送ります。

音楽再生中にL(左)のタッチセンサーを2回タップすると曲戻します。

イヤホンの使いかた

音量調整

R(右)のタッチセンサーを3回タップすると音量が上がります。
L(左)のタッチセンサーを3回タップすると音量が下がります。

音声アシスタント

R(右)のタッチセンサーを約1秒長押しし、効果音が聞こえたら指を離してください。音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。音声指示してください。
※端末によってはオフにする機能が使えない場合があります。

アクティブノイズキャンセリング(ANC)

アクティブノイズキャンセリング(ANC)は、周囲からのノイズを軽減し、集中して音を楽しむことができます。3つのモードがあり、初回ご使用時は、ANCオフの状態となっています。

1. ANCオン:

ANCオフの状態ではL(左)のタッチセンサーを約1秒長押しし、効果音が聞こえたら指を離してください。

2. 外音取り込み:

ANCオンの状態でL(左)のタッチセンサーを約1秒長押しし、効果音が聞こえたら指を離してください。

●このモードはノイズを軽減しながらも周囲の音が聞きやすいので、音楽を聴きながら屋外でスポーツをする際などは周囲の状況を把握できるため、安全に配慮しながらご使用いただけます。

3. ANCオフ:

外音取り込みモードでL(左)のタッチセンサーを約1秒長押しし、効果音が聞こえたら指を離してください。

●L(左)のタッチセンサーを約1秒押すごとに、ANCオン→外音取り込み→ANCオフの順で切り替わります。

●ANCや外音取り込みモードをご使用の場合、再生・通話・待機時間が通常より短くなります。

●2回目以降、再接続した場合は、通常モード(ANCオフ)状態となります。

その他

Bluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、「Disconnect」の音声が聞こえます。5分以内に範囲内に戻ると「Connected」の音声が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかどちらかのタッチセンサーを1回タップすると再生が再スタートします。

Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入切れることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声が入ずれることがあります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。
- 本商品のプラグやポートにホコリなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。ホコリがたまるとショートして発煙、発熱の原因になるおそれがあります。

イヤークリップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- 本商品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本商品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

商品仕様

商品向上のため、仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	カナル型
	イヤホン本体質量(片耳)	約3.7g
	使用温度範囲／湿度範囲	5～40℃ 20～80%(ただし結露なきこと)
ヘッドホン部	ドライバー型式	ダイナミック型
	ドライバーサイズ	Φ10mm
	音圧感度	110dB
	インピーダンス	32Ω
	再生周波数帯域	20Hz～20kHz
マイクロホン部	マイク感度	-38dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.4
	対応プロファイル	HFP,AVRCP,A2DP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離／送信出力	約10m／Class2
ヘッドホン部 その他	イヤホン本体バッテリー量(片耳)	30mAh
	連続音楽再生時間(※1)	約5時間
	連続通話時間(※1)	約4時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	イヤホン本体充電時間	充電ケースでの充電:約2時間 ※充電ケースが満充電の状態、最大4回まで充電可能
	充電ケース充電時間	約2時間
	充電ケース内蔵バッテリー量	350mAh
	充電ケースサイズ(W x D x H)	約59.6 x 51.0 x 27.1mm
	充電ケース質量	約44g
	充電ポート	Type-Cポート



商品仕様

機能一覧	ANC(Active Noise Cancellation)	○
	ENC(Environmental Noise Cancellation)	○
	音声アシスタント	Googleアシスタント/Siri
	ハンズフリー機能	○
	オート電源オン	○
	自動ペアリング	○
	EQ(Equalizer)	○
	イヤホンを探す	○
	懐中電灯	○
	撮影	○
	ストップウォッチ	○
	タイマー	○
付属品	充電用Type-Cケーブル	約0.30m
	イヤークリップ	S/M/L(Mサイズは本体に装着済み)
	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヶ月

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出、接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話／再生時間が短くなる場合があります。

本商品は工事設計認証を受けています。

Earphone   210-243455

Case   210-243458

リチウム電池のリサイクルについて



この商品にはリチウムイオン電池が使用されています。
不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

株式会社ゲオ
お客様サポートセンター



0120-152-317

※本商品に関する専用連絡先となります。
受付時間:AM10:00～PM6:00年中無休
(年末12月30日～年始1月4日を除く)